

第2回 形原地区

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日 時：令和4年9月10日（土）

午後1時30分～午後4時30分

主 催：蒲郡市

会 場：形原中学校 多目的室 ほか

プログラム

開会	1 : 30
事務局から説明	1 : 35
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの趣旨・目的 ・進め方とスケジュール ・前回ワークショップでのご意見 ・ご質問等への回答 ・小中学校規模適正化方針、公民館・保育園グランドデザイン ・課題解決に向けた視点の整理 ・本日の検討内容 	
（休 憩）	2 : 25
グループ討議	2 : 35
<ul style="list-style-type: none"> ・視点の整理 ・形原地区の課題 ・課題解決の方策 	
発表	4 : 00
事務連絡	4 : 25
閉会	4 : 30

<目次>

・ ワークショップの趣旨・目的	1
・ 進め方とスケジュール	2
・ 第1回ワークショップの結果概要（案）	7
・ 第1回ワークショップ ふりかえりシートご意見	11
・ ご質問等への回答	15
・ データで見る形原地区の現状	22
・ 課題解決に向けた視点の整理	34
・ 第1回ワークショップでいただいたご意見の整理	35
・ 本日の検討内容	38

<別冊資料>

- ・ 蒲郡市小中学校規模適正化方針（概要版）
- ・ 蒲郡市公民館のあり方について（概要版）
- ・ 蒲郡市公立保育園のあり方について（概要版）
- ・ コミュニティ施設の事例集

ワークショップの趣旨・目的

蒲郡市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲郡市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲郡市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、今後公共施設マネジメントを実施していくにあたって、蒲郡市が目指すべき方向性のイメージを示しました。



また、計画内では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

市は、皆様のご意見を参考に形原地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった” “住み続けたい” と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

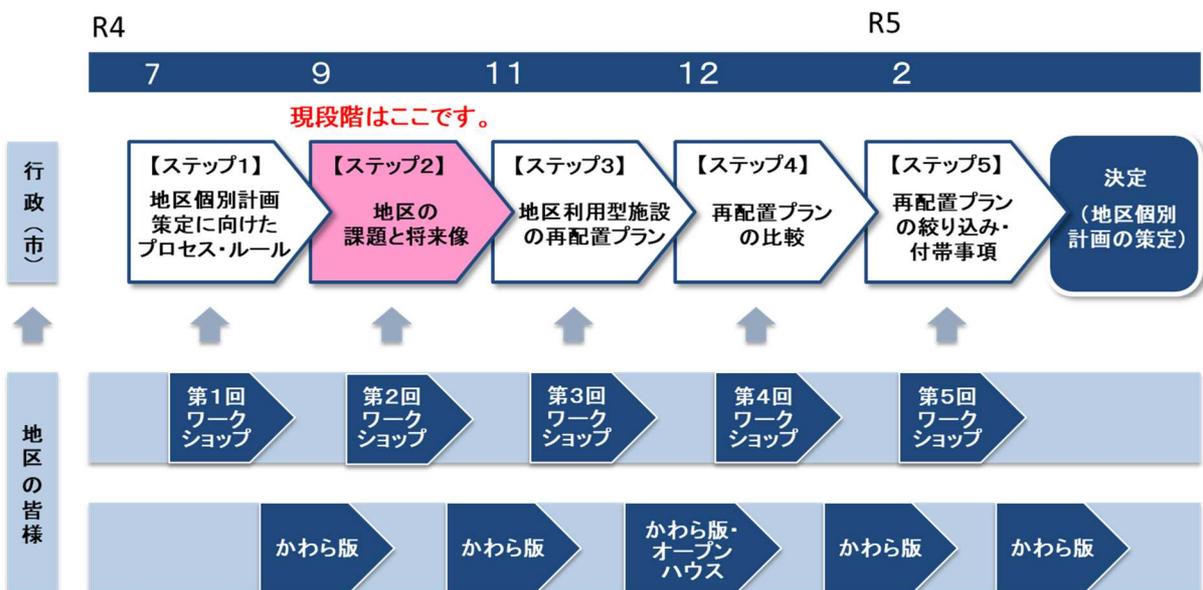
進め方とスケジュール

1 検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

2 スケジュール（予定）



3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ・ ワークショップ
- ・ オープンハウス（パネル展示型説明会）
- ・ かわらばん



【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、開催を予定しています。

【かわらばん】

地区内の各世帯に配布するチラシです。各回のワークショップ終了後、広報がまごおりとともに配布を行います。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

4 ワークショップの概要

- ワークショップは、令和5年2月までに5回開催します。
- 原則として土曜日・日曜日に開催します。
- 会場は、原則として地区内の学校または公民館とします。
- 事務局は、蒲郡市総務部公共施設マネジメント課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆様にグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由に前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。話し合いの様子を記録する場合がありますをご了承ください。

6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行
やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします。～

なばた めぐみ
名畑 恵

NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

ふじもり みきひと
藤森 幹人

株式会社 対話計画

かつらやま としあき
葛山 稔晃

株式会社 対話計画

いなば ひさゆき
稲葉 久之

フリーランス・ファシリテーター

しらかわ よういち
白川 陽一

Keramago Works

8

ワークショップの参加にあたって

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

第1回ワークショップの結果概要（案）

1 計画策定に向けた検討やワークショップの進め方について

1) 公共施設マネジメントの考え方について

- 地区利用型施設だけでなく、他の施設と絡めて検討していきたい。

2) ワークショップの進め方について

- 市民から直接問題点や課題を出してもらい進めていく点はよい。
- 小中学校の再編等は、教育委員会など専門家が決めればよい。
- 事前に前回のまとめを送ってほしい。
- 参加者へ宿題を課してはどうか。
- ワークショップでどこまで決めるのか。
- 会場が賑やかすぎたため、次回以降は集中できる環境で検討したい。
- 施設整備の際には、他の施設も参考にすべきである。

2 地区のまちづくりや公共施設について

1) 地区のまちづくりの方向性

- 形原は自然豊かで住みやすい。
- 今住んでいる若者が、将来も住み続けたいと思うような魅力あるまちづくりをしてほしい。
- 若い世代が移住したくなるようなまちづくりを進めてほしい。
- 蒲郡は子育て支援に力を入れている点がよい。
- アクセス面が良好な割に地価が安い点は、蒲郡の強みだと思う。
- 企業を誘致して、雇用創出につなげたい。
- 形原の魅力を発信し、インバウンドの観光需要を取り込みたい。
- 形原のお年寄りはとても元気である。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 協力的な人が多い地域柄であるため、学校を含めた情報共有を密にすることで活動を広げ、地域の人々の活躍の場を作りたい。
- コロナの影響もあり、人とのつながりが希薄になってきていることが心配だ。
- 子ども会が消滅してしまった地区もあるが、工夫して継続している地区もある。なんとか継続していきたい。
- 道路が狭く、今後の利活用が難しい地域もある。
- 形原中学校の近くにある踏切は、危険だと感じる。

2) 公共施設の現状や今後について気になること

■ 公共施設全般

- 地域の人々が交流できる場所がほしい。
- 地域の良さを生かした遊びができる施設がほしい。
- 高齢者の身近に居場所がほしい。
- 中高生が気軽に使いやすい公共施設がほしい。
- 子ども会や部活動がなくなっているため、小中学生の居場所がほしい。
- スポーツ利用ができる広い施設がほしい。
- 地区の人口バランスを考慮した施設配置にしてほしい。
- 現在の施設は、利用制限や予約の取りにくさがあり、使いにくいと感じる。

■ 小中学校

- 小中学校と保育園が隣接すると、子ども同士の交流や親の送迎、災害時の避難などでメリットがある。
- 小学校の老朽化が心配だ。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

■ 保育園

- 形原保育園、形原北保育園は施設が古く、狭い。
- 0歳児保育のニーズは高いが、定員いっぱいでは預けられない。新たな受け入れ先の確保や定員を増やす必要がある。
- どの保育園も駐車場が狭くて足りない。
- 保育園へのアクセスが悪い。
- 子どもが減っていくことを考えると、保育園を集約してもよいと思う。

■ 児童館

- 中高生にとって、児童館は小さな子どもが多く利用しづらい。
- 児童館と公民館が集約すると、子どもと高齢者の交流が生まれてよい。
- 児童館の雨漏りは、特殊なデザインが原因ではないか。

■ 公民館

- 公民館は機能面で若者のニーズを満たしておらず、利用しづらい。
- 公民館は高齢者にとって遠く、利用しにくい。
- 公民館の利用者が増加すると、新たな機能が併設されるなど相乗効果が生まれるのではないか。

■ 災害時の対応について

- 形原南保育園は災害時には心配な面がある。
- 地区の防災無線は、雑音が多く聞こえづらい。

■ アクセス・駐車場について

- どの施設も駐車場が少なく、利用しづらい。
- イベント時などはバス送迎などの工夫もできないか。
- くるりんバスをもっと活用できるとよい。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

■ その他

- 地区集会所を世代や利用目的にとらわれず、幅広く活用したい。
- 西部市民センター跡地は土地としての課題もあるが、駅前で便利な場所であるので、地元と十分に協議をしながら活用の検討を進めてほしい。
- ユトリーナ蒲郡の今後の方針が知りたい。
- 乳幼児が安心して遊べる場所が少ない。トイレが綺麗な公園ができるといい。
- 今ある図書館分室は使いづらい。跡地利用や複合化で利用しやすい図書館機能を設けたい。
- 金平テニスコートは、夜間駐車場が暗いため、照明があるといい。
- 一色不燃物最終処分場の跡地を、公園などみんなが使える場所にしてほしい。
- 形原テニスコートが地図に無いのはなぜか。
- 空き家や空き地を市が買い取り、有効活用できないか。

第1回ワークショップ ふりかえりシートご意見

1 今日の議論で良かったこと

- 形原地区の問題点、要望、自慢できること等色々な意見が聞けたこと。
- 参加者の多彩なご意見並びに要望が多く出てきて大変良き議論がお聞きできました。
- 気楽に考えを言うことができました。
- いろんな方々の意見が聞けて良かった。
- 自分視点ではない各世代別に感じた意見や異業種観点での街の意見を交換できたことや、それらをベースに形原ビジョンについて議論できたこと。
- いろんな立場の方の意見を聞くことができよかったです。立場の違い、年齢の違いにより、違った意見が出てくる、自分自身も多面的に考えて意見が出せるようにしたいと考えました。
- 意見がたくさん出て、考えるきっかけになり良かった。
- 幅広い方と話し合えてそれぞれの悩みを聞いたので、その場で解決策が出て形原が良く変わっていくのを実感できた。堅苦しくない雰囲気での議論で思ったことを素直に言うことができた。
- 突拍子もない意見からも現実的な観点からより良い意見として作れていたと思います。
- 活発な話し合いができてとても良かった。
- いろんな視点で街について考えることができた。正直に切実な思いを伝えることができた。
- フレンドリーな方たちが多くてよかった。中学生が入ることでより未来への期待を感じた。と同時に、公民館等の利用がいかにかに学生達に使われていないのかリアルな意見が良かった。
- 形原の良いところ。駅前を利用。コミュニティバスの幅広い利用できるといい。保育園が古くなってきている。公民館にドリンクバーがほしい。
- いろいろな多くの意見が出され大変有意義であった。特に若い人の意見が出

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

されたのは良い。

- 皆さんの意見が聞けてよかったです。
- テーマがたくさん出た。その議論が進んだ項目もあり良かった。各議論も重要かつ必要なことであり、参加者もよく考えていると感じました。
- 中学生、幼児の親、仕事を自身で経営している人、地区総代、いろいろな立場の人が10人集まったのグループなので、自分が知らなかったこと、考えたことがなかったことなどが分かり良かった。ファシリテーターの人がとてもうまく進めてくれて活発な議論ができた。
- 思ったよりのびのびと意見を言うことができた。
- 公民館のWi-Fi、ドリンクバー大賛成です！多くの意見聞けて良かったです。
- 色々な意見を多く聞けたこと。
- 形原地区を盛り立てていきたい思いがしっかり感じ取れた。
- 違う立ち位置で意見が聞けた。
- 異なる立場、年齢の方々の意見がたくさん聞けて良かった。保育園の話のみお話ししたが、企業参加等の思いつかないこと等も聞けて良かった。

2 内容について言い足りなかったこと

- 小中学校、保育園、児童館、公民館で現役の学生が実際に不便をかけている問題点を具体的に教えて欲しい。また今後の要望についても教えて欲しい。
- 公共施設の将来を考えるワークショップですので話の内容がずれていると私自身は思いました。
- 子育てのしやすい街。子供が安全に生活できる街。
- 人のつながりが希薄との意見と道が狭いとの意見が出ましたが、他のグループからは人のつながりについて反対の意見が出されていました。道が狭いと指摘された地域での意見ではと思います。隣近所の物理的な距離が人同士のつながりの距離につながっているのでは？公共施設の中で全市の施設として公園グラウンドも地域の施設として考えられたら？

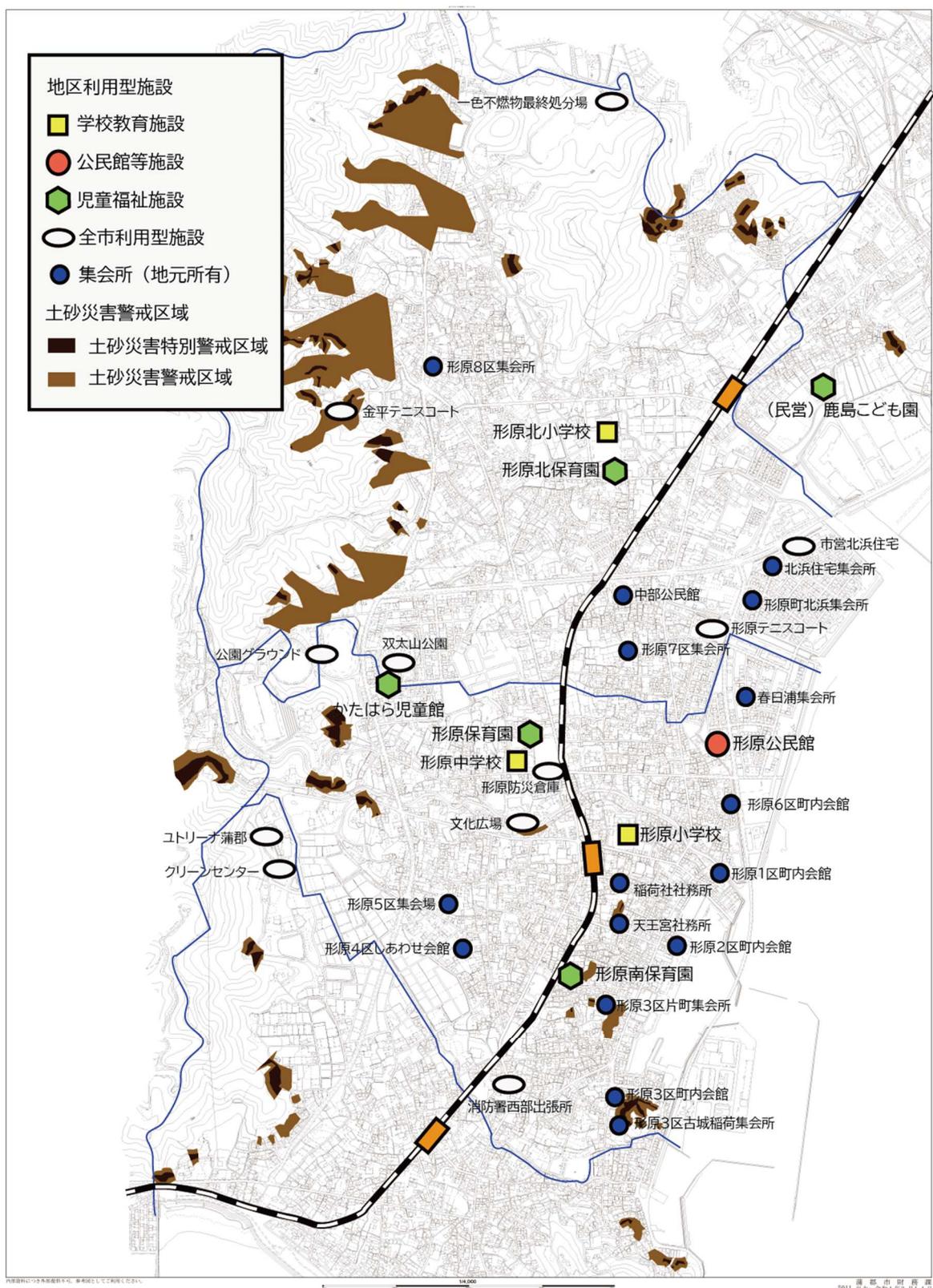
まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 昔ながらの家並みで一方通行も多くて狭い道が多い。ゴミステーション迄遠い家も多い。家の建て替えや修繕にも影響がでます。一つ残念なことは愛知県のなかで人口が減っている市は蒲郡市だけと言う現実です。（※令和2年国勢調査から愛知県内の人口が増加した市町村は名古屋市を始め32市町村、一方、減少した市町村は蒲郡市を含め22市町村でした。）
- 今回は公共施設について主に話したので、次は自然や環境問題についても議論してみたい。
- 「あじさいの里や競艇の話で経済的な余裕を持たせるべき」という意見があり、自分の意見である今いい財源となっている産業に絡め、関連した産業を育てるという意見。
- 学校の外の意見が多く出され、感心の議題が少なく残念。
- 今後も参考になることが多いと感じます。
- 保育園について言い忘れてました…。駐車場も狭く、そこまでの道も狭く、朝車でごちゃごちゃになったりすること。
- 市組織における都市計画課とマネジメント課の業務分担を教えてください。
- この会議の本来の目的は、少子高齢化に伴う市財政緊縮に対する形原地域の小中学校・保育園・公民館等の統合・廃止・縮小について、将来に遺恨を残さないよう意見交換をすべきと説明されたと思いますが本来の目的を教えてください。もし、そうであるならば専門家である教育委員会、教員組織、市議員、学識経験者等で検討すべきと考えます。
この会議では、反対にこれらの施設のほか、市への要望等の意見がほとんどです。この点について市の考えをお聞きします。
- 公民館は市の施設ですか。また、主な収入は市の補助金ですか。
- 西浦町は財産区を有しており、この収入はどこに入りますか。
- 中央通りのパチンコ跡地に関しては、個人所有地ですが中心市街地であり、敷地面積も広大です。都市計画マネジメントとの整合を図るためにも、今後の利用計画を把握していただきたい。

3 今日のワークショップの進め方について

- 問題点の掘り起こし、纏め方は良かった。
- 思う事を何でも発表することより具体的な内容について問いかけてそのご意見を審議して行くと無駄な時間を費やしなくてスムーズに進めて行くと思われる。
- 他の人の声が聞きづらかった。
- 都市計画に繋がる第一歩として良好だと思います。
- 皆さんの意見が活発に出せる雰囲気づくりをされていました。主催の期待する答えとずれるかもしれませんが参加者の意見をくみ取れる進め方を続けていただきたいと思います。
- 次回の宿題があっても良いと思いました。
- 緊張しない進め方が良かったです。
- 最初にグループ共通の話題があるならばグループ別での話題もあったほうがグループがある良さが活かされると思います。
- 意見が出しやすくとても良かった。
- 全体的に良いです。Dグループのファシさんに次回も頑張ってください。
- 意見が良く出た。
- 隣の声が大きく発言者の声が聞きにくかったのが残念。
- 参加者の意見を出す手法にて概ね良好に進められたと思います。
- 参加して良かったです。
- とても良かったです。
- 付箋に意見を書いて、グループ討議を進めるやり方は良いと思いました。
- たしかに、隣の声が大きくきになる。
- 会場がやや騒がしい（声が聞き取りにくかった。）
- 問題点がまとまらないかも。
- 自由な雰囲気が進められて良かったです。

(11) 土砂災害警戒区域 (資料集 p.4)



• 公共施設では、形原南保育園が立地している東斜面が土砂災害警戒区域（急傾斜）に指定されています。

ご質問等への回答

1 ワークショップの進め方について

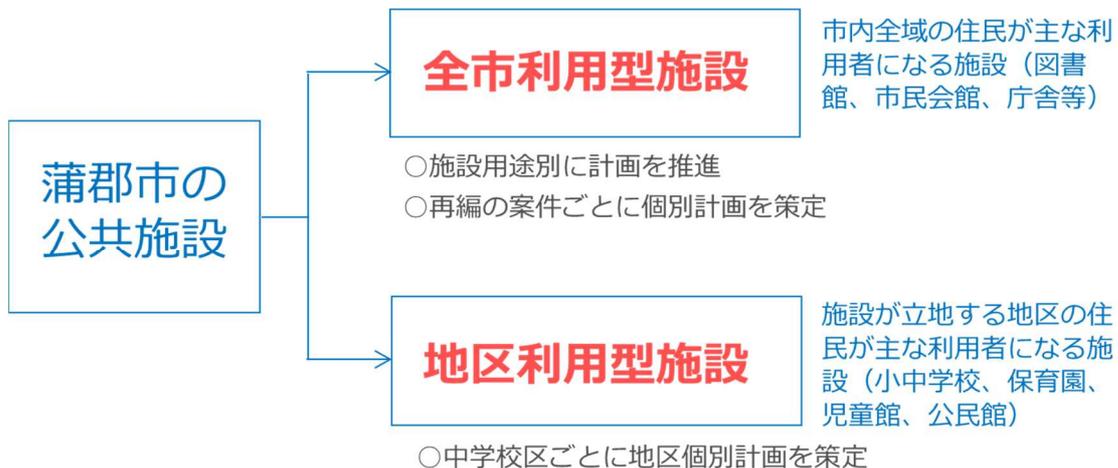
- 地区利用型施設だけでなく、他の施設と絡めて検討していきたい。

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画では、市内全域の住民が主な利用者となる「全市利用型施設」と、施設が立地する地区の住民が主な利用者となる「地区利用型施設」に分けて、適正配置に向けた検討を行うこととしています。

「全市利用型施設」については、「全市利用型施設」同士での複合化や集約化、利便性の高い位置への再配置等を行い、市全体としての魅力の向上を図るとともに、施設保有量の適正化や運営等の効率化を進めます。

一方で、「地区利用型施設」については、地区ごとに交流拠点を整備することで、地区の皆様が互いに支え合い、助け合うことができる環境の充実を図っていきます。

このため、「全市利用型施設」は、利用圏を市域全体で捉えて配置を検討し、「地区利用型施設」は、地区ごとに配置を検討していきます。



今回のワークショップで配置や活用方法を検討いただく施設は、8つの「地区利用型施設」(形原小学校、形原北小学校、形原中学校、形原保育園、形原南保育園、形原北保育園、かたはら児童館、形原公民館)となりますが、「地区利用型施設」の検討にあたって、形原地区にある「全市利用型施設」の状況も参考になると思いますので、主な全市利用型施設の状況をp.18～19に整理しました。ご確認ください。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- この会議の本来の目的は、少子化の進行に伴う市財政緊縮に対する形原地域の小中学校・保育園・公民館等の統合・廃止・縮小について将来に遺恨を残さないよう意見交換をすべきと説明されたと思いますが本来の目的を教えてください。（振り返りシートより）

今回のワークショップは、施設の統廃合へのご理解をいただくために実施しているのではなく、公共施設の再配置を検討するにあたり利用しやすい配置や利用方法などをお聴きするために実施しています。本日は、p38にある「本日の検討内容」のとおり、「第1回ワークショップで出された意見を反映し、皆様が大切だと思っている8つの視点をまとめました。皆様のご意見を反映されていますか。追加すべき視点はありますか。」と「各々の視点について、課題を解決するためにどのようなことに具体的に取り組んでいくとよいでしょうか」についてお伺いします。

このように、実際に生活している方のご意見を参考に、地区利用型施設の再配置計画である地区個別計画を策定し、最終的には、形原地区にお住まいのみなさんが“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるようなまちづくりの一因となることを目指しています。

- 小中学校の再編等は、教育委員会など専門家が決めればよい。
- 専門家である教育委員会、教員組織、市議員、学識経験者等で検討すべきと考えます。

この会議では、反対にこれらの施設のほか、市への要望等の意見がほとんどです。この点について市の考えをお聞きします。（振り返りシートより）

人口減少・少子化に伴い、学校規模の小規模化が進んでいることから、将来の子どもたちにより良い教育環境の実現を目指すため、令和2年度、蒲郡市教育委員会は、学識経験者や市内の現職校長などで構成される「蒲郡市の未来を拓く教育推進会議」を設置し、市内の適正な学校規模の考えを示す「蒲郡市小中学校規模適正化方針」を策定しました。また、公民館や保育園についても、施設の所管部署が学識経験者等の意見も踏まえて、市の考えである「ランドデザイン」を策定しています。こうした市の考えは、本日のワークショップで概要を説明させ

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

ていただきます。

一方、学校などの地域の方が主に利用する施設に関しては、これまで施設を利用してきた方の思い入れや、地域とのつながりなども重視すべきという考えから、地域の方のご意見をお聴きした上で、施設の再配置計画に繋げていきたいと考えています。より多くの方の思いをお聴きできるよう、今回のワークショップだけではなく、オープンハウス（パネル展示型説明会）の開催やかわら版の発行を行う予定です。

以上のように、専門的な知見から導かれた市の考え方と地域の方の思いを融合させ、将来的に形原地区の学校がよりよいものになるよう、計画策定を進めていきます。

初回のワークショップにつきましては、広く形原地区に関する現状を整理、共有するため、公共施設に限らずご意見をいただきました。いただいたご意見は、今後、地区の課題や将来像を検討していくための基礎情報として、参考にさせていただきます。

- 事前に前回のまとめを送ってほしい。

ワークショップにご参加いただいている方には、毎回ワークショップが開催される5日前を目途に、当日使用する資料を送付させていただきます。その際に、前回いただいたご意見をまとめた「意見まとめ」を同封させていただきますので、前回の振り返りにご活用ください。

- 参加者へ宿題を課したらどうか。
- 次回の宿題があっても良いと思いました。（振り返りシートより）

形原地区のワークショップは市内で最後の開催となりますが、今までの地区において、宿題をお願いさせていただいたことはありません。

事務局からのお願いとしまして、ワークショップで使用する資料を事前に郵送させていただきますので、ご参加いただく前に一度目を通していただけますと幸いです。検討内容を把握した上で当日ご参加いただきますと、事務局からの説明も理解が深まり、スムーズにグループ討議に移行できると考えています。

● ワークショップでどこまで決めるのか。

今回のワークショップで検討いただく内容を、p.2の「検討のステップ」において記載しています。形原地区の課題解決に至る再配置プランを提示し、比較検討を経た後、最終的には案の絞り込みを行います。

なお、このワークショップは、新しい施設の配置などを決定する場ではなく、市が地区個別計画を策定するにあたり、地区の皆様の思いを伺うために開催しています。いただいたご意見を参考に、計画を策定していきます。

2 形原地区や公共施設に関して

● 西部市民センター跡地は土地としての課題もあるが、駅前で便利な場所があるので、地元と十分に協議をしながら活用の検討を進めてほしい。

形原駅前にあった旧西部市民センターには、公民館、出張所、市民センター（貸館）の機能がありましたが、このうち公民館は、平成22年4月に春日浦へ移転し、出張所と市民センターは市の行政改革委員会の提言を受け、平成25年3月に廃止しました。それ以後建物は防災備品の倉庫などとして活用されました。

現在、建物は解体され、基礎部分のみとなっています。基礎の撤去には、名鉄との協議と並行して、撤去した場合の線路への影響に関する調査を進めています。活用方法については、今後検討していくことになります。

- ユトリーナの今後の方針が知りたい。
- 一色不燃物最終処分場の跡地を、公園などみんなが使える場所にしてほしい。

形原地区に関係する主な全市利用型施設について、概要をまとめました。

(1) 公園グラウンド

陸上競技場、サッカー場、野球場が併設されており、市民陸上競技大会の開催、サッカーチーム「アトラス」の練習、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦などで使用されています。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

(2) 文化広場

バスケットボール、バレーボールなどで利用できる体育館競技場、軟式野球チーム「形原アトムズ」が練習する多目的運動場のほか、和室、大会議室、小会議室があるふれあい会館を併設しており、ふれあい会館は裁縫やヨガの教室で使用されています。

(3) ユトリーナ蒲郡

クリーンセンターの余熱を利用した健康増進施設で、人工温泉や露天風呂を併設しています。現在、豊川市と焼却施設（クリーンセンター）の広域化を検討しており、焼却施設の広域化にあわせて、廃止することを検討しています。

(4) 一色不燃物最終処分場

廃棄物を埋め立て処分する施設です。平成20年度までに廃棄物が容量に達したため、翌年度に埋め立てを中止し、現在施設の廃止手続きを進めています。跡地の活用方法については決まっていません。

なお、上記の全市利用型施設における今後の活用等については、個別に検討を進めていきます。

● 形原テニスコートが地図に無いのはなぜか。

前回配布いたしました資料集では、地区内の全市利用型施設については、建物床面積100㎡以上の施設のみ掲載しております。（金平テニスコート：242㎡ 形原テニスコート：43㎡）

参考として、p.31以降には形原テニスコートも掲載しました。ご確認ください。

- 公民館は市の施設ですか。また、主な収入は市の補助金ですか。（振り返りシートより）

市内には、教育委員会生涯学習課が所管する公民館が11か所あり、形原地区内では形原公民館が該当します。形原公民館以外の「〇〇集会所」「△△会館」などは、総代区や常会が管理している地区集会施設となります。地区集会施設についても、前回配布いたしました資料集p.1でまとめているので、ご確認ください。

市の公民館の主な運営資金は、市から公民館運営団体に支払っている指定管理料となります。

3 その他

- 市組織における都市計画課とマネジメント課の業務分担を教えてください。（振り返りシートより）

蒲郡市事務分掌規則には、以下の通り示されています。（関連するものを一部抜粋します）

都市計画課：

- （1）都市計画の基本調整及び基本計画に関すること。
- （2）都市計画事業の計画決定及び変更に関すること。
- （6）都市再生特別措置法による立地適正化計画に関すること。
- （9）都市計画法による開発行政事務に関すること。

公共施設マネジメント課：

- （1）公共施設の整備及び管理運営の総合的な調整に関すること。
- （2）公共施設の適正配置に関すること。
- （3）市有建物の保全の総合的な調整に関すること。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 中央通りのパチンコ跡地に関しては、個人所有地ですが中心市街地であり、敷地面積も広大です。都市計画マネジメントとの整合を図るためにも、今後の利用計画を把握して頂きたい。(振り返りシートより)

ご指摘いただきましたとおり、蒲郡駅北西の旧コスモジャパン蒲郡店跡地については、市所有の土地ではありません。しかし、市としても駅周辺の利便性が高いエリアであり、敷地面積も約15,000㎡あることから、市全体のまちづくりにおいて重要な場所であると認識しています。民間所有地ではありますが、今後も継続して、動向を注視してまいります。

- 西浦町は財産区を有しており、この収入はどこに入りますか。(振り返りシートより)

財産区は、市町村の一部地域(住民)が山林、墓地、宅地、原野などの特定の財産を保有する場合、それらを管理するために設けられた法人格を有した特別地方公共団体です。西浦町財産区は、スパ西浦モーターパークや中学校の体育館などの用地を保有しており、土地賃借料収入があります。賃借料収入については、特別地方公共団体としての特別会計により管理をしています。

- 空き家や空き地を市が買い取り、有効活用できないか。

今後公共施設の建て替えを順次進めていくにあたり、駐車場の拡大等で新たな土地の確保が必要になった場合など必要だと判断した場合には、周辺の空き地等の購入を検討してまいります。

データで見る形原地区の現状

1 地区の特色

- 形原地区は市南西部に位置し、名鉄形原駅を中心に住工混在の市街地が広がっています。古くはロープ産業で栄え、発展してきました。地区西部の山あいには形原温泉があります。一方、海辺には形原漁港があり、海から丘陵までの多様な自然を享受できることが地区の特色となっています。

2 地区間公共施設保有量比較

- 形原地区の地区利用型施設の人口1人あたり延べ床面積は、1.76 m²/人と市全体（2.04 m²/人）と比較して、やや少ない状況です。
- 人口は、14,814人と7地区中2番目に多く、市全体の18.6%を占めています。

地区	人口(R2)	施設区分	公共施設 保有面積 (m ²)	人口1人 あたり面積 (m ² /人)
大塚	6,254	地区利用	15,400	2.46
		全市利用	18,859	3.02
		総計	34,259	5.48
三谷	12,689	地区利用	25,863	2.04
		全市利用	6,554	0.52
		総計	32,417	2.55
蒲郡北	12,679	地区利用	27,609	2.18
		全市利用	50,609	3.99
		総計	78,218	6.17
蒲郡南	16,853	地区利用	34,169	2.03
		全市利用	28,332	1.68
		総計	62,501	3.71
塩津	11,094	地区利用	16,924	1.53
		全市利用	8,584	0.77
		総計	25,508	2.30
形原	14,814	地区利用	26,088	1.76
		全市利用	9,545	0.64
		総計	35,633	2.41
西浦	5,155	地区利用	16,013	3.11
		全市利用	12,964	2.51
		総計	28,977	5.62
市全体	79,538	地区利用	162,066	2.04
		全市利用	135,447	1.70
		総計	297,513	3.74

※ 人口は、令和2年度国勢調査に基づき算出

※ 公共施設保有面積は、令和2年度蒲都市公共施設白書をもとに作成

3 人口

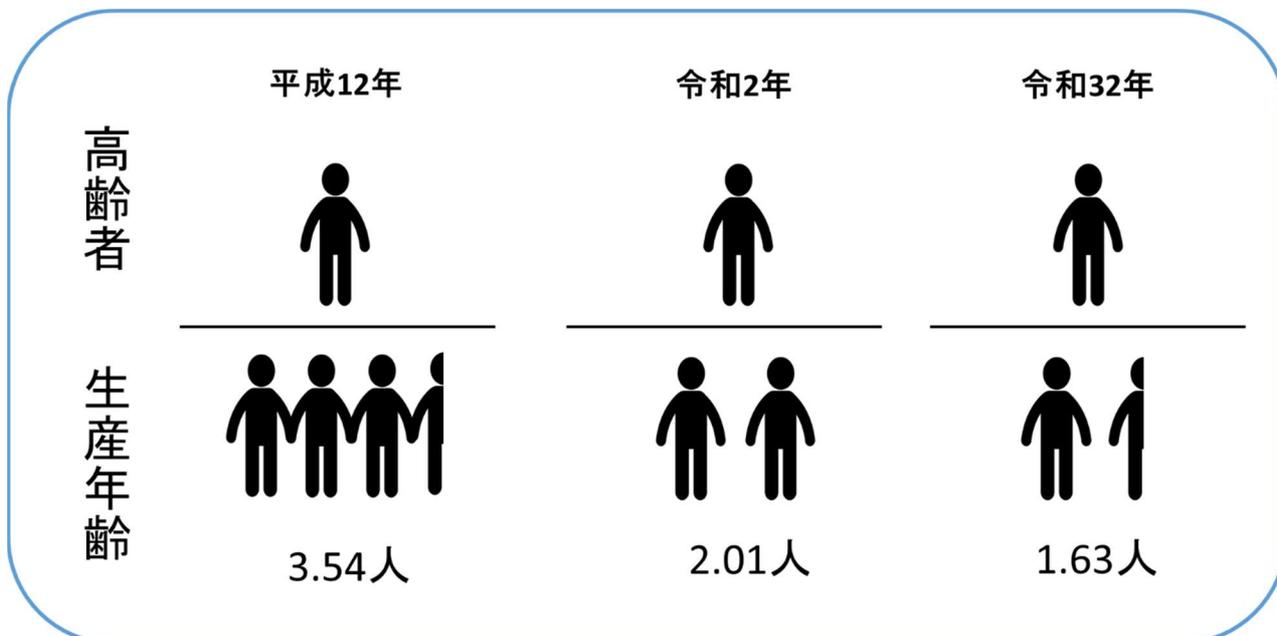
- 国勢調査のデータによると、地区内の人口は平成 12 年から令和 2 年までの 20 年間で、744 人（4.8%）減少しています。高齢者人口については 1,619 人（55.8%）増加しており、生産年齢人口は 1,792 人（17.4%）及び年少人口は 571 人（24.1%）減少しています。

形原地区の人口推移

単位：人

人口区分		平成 12 年 (2000 年)	平成 22 年 (2010 年)	令和 2 年 (2020 年)	令和 12 年 (2030 年)	令和 22 年 (2040 年)	令和 32 年 (2050 年)
高齢者人口 (65 歳以上)	目標値			4,393	4,401	4,465	4,090
	実績値	2,902	3,871	4,521			
生産年齢人口 (15~64 歳)	目標値			8,833	8,078	7,104	6,686
	実績値	10,286	9,545	8,494			
年少人口 (14 歳以下)	目標値			1,829	1,715	1,775	1,760
	実績値	2,370	2,242	1,799			
総計	目標値			15,055	14,194	13,344	12,536
	実績値	15,558	15,658	14,814			

- ※ 目標値は、「蒲郡市まち・ひと・しごと人口ビジョン」における目標人口の推計条件を形原地区に適用して算出
- ※ 実績値は、国勢調査データに基づき算出



- 地区内の高齢者（65 歳以上）1 人に対する生産年齢人口（15 歳～64 歳）の人数は、平成 12 年当時は 3.54 人だったものが令和 2 年には、2.01 人にまで減少しています。また、令和 32 年には 1.63 人にまで減少する見込みです。

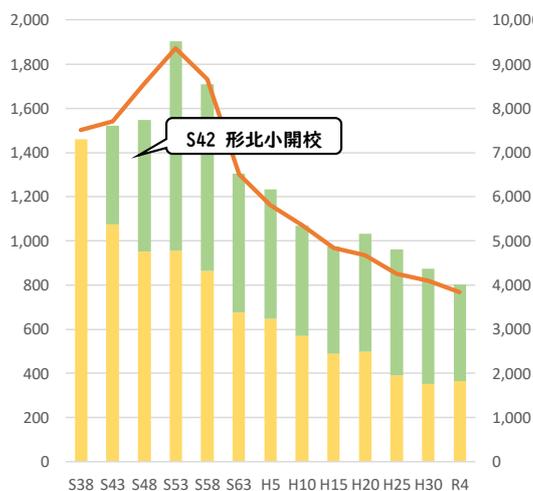
4 施設を取り巻く状況（資料集から抜粋）

(1) 小学校・中学校の児童・生徒数の推移（資料集p.15）

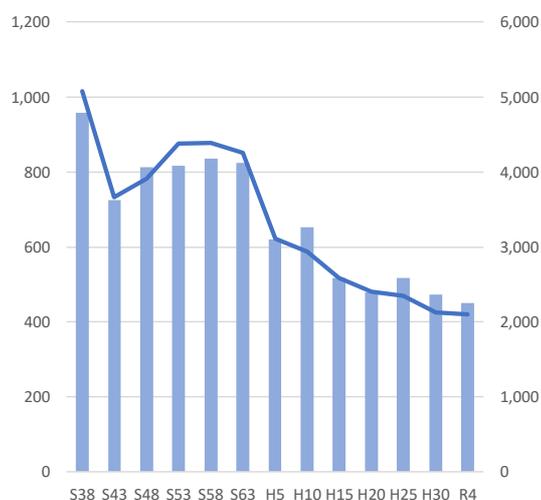
(人)

	S38 (1963)	S43 (1968)	S48 (1973)	S53 (1978)	S58 (1983)	S63 (1988)	H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H20 (2008)	H25 (2013)	H30 (2018)	R4 (2022)	S53を基準とした R4の割合
1 蒲南小	1,950	1,954	1,600	1,064	856	591	522	382	367	365	333	332	372	35.0%
2 蒲東小	413	421	499	445	485	375	352	385	345	339	294	284	288	64.7%
3 蒲北小	366	379	455	523	429	293	273	272	298	301	298	323	302	57.7%
4 蒲西小	206	185	156	136	184	140	124	123	92	105	74	67	67	49.3%
5 三谷小	1,393	1,449	810	749	633	469	394	357	372	330	262	215	206	27.5%
6 塩津小	551	581	809	1,066	1,038	808	715	685	654	579	518	527	455	42.7%
7 大塚小	396	402	418	527	590	488	394	408	356	385	308	297	260	49.3%
8 形原小	1,461	1,075	952	955	863	676	647	569	488	500	391	353	367	38.4%
9 西浦小	770	810	852	852	829	628	523	495	399	309	214	245	206	24.2%
10 形北小		447	596	947	846	628	587	499	486	534	570	520	436	46.0%
11 中央小			671	721	661	527	483	412	306	286	334	304	287	39.8%
12 三東小			738	802	755	507	489	467	389	320	320	303	275	34.3%
13 竹島小				575	485	376	314	306	294	331	337	329	324	56.3%
14 蒲郡中	1,991	1,419	1,443	1,061	981	891	651	592	530	487	520	517	475	44.8%
15 三谷中	986	700	718	726	713	705	460	460	410	383	318	294	277	38.2%
16 塩津中	342	269	332	442	495	535	376	351	331	308	317	257	278	62.9%
17 大塚中	253	192	199	218	270	268	238	184	187	194	184	147	138	63.3%
18 形原中	958	726	812	816	836	825	621	653	517	478	517	474	451	55.3%
19 西浦中	545	358	405	452	399	414	303	245	227	196	148	101	134	29.6%
20 中部中				665	699	616	465	450	380	355	338	334	343	51.6%
合計(小)	7,506	7,703	8,556	9,362	8,654	6,506	5,817	5,360	4,846	4,684	4,253	4,099	3,845	41.1%
合計(中)	5,075	3,664	3,909	4,380	4,393	4,254	3,114	2,935	2,582	2,401	2,342	2,124	2,096	47.9%
合計	12,581	11,367	12,465	13,742	13,047	10,760	8,931	8,295	7,428	7,085	6,595	6,223	5,941	43.2%

形原地区児童数推移(小学生)



形原地区生徒数推移(中学生)



・市内全体の児童生徒数が最も多かった昭和53年と令和4年を比較すると、形原地区全体での児童生徒数は46.1%にまで減少しています。(2,718人→1,254人)

(2) 学校別児童生徒数 (資料集p.16)

学年	1		2		3		4		5		6		計		
	人数	学級	人数	学級	特別支援学級										
蒲南小	66	2	65	2	59	2	62	2	62	2	58	2	372	12	3
蒲東小	49	2	46	2	40	2	55	2	51	2	47	2	288	12	3
蒲北小	54	2	48	2	49	2	39	2	57	2	55	2	302	12	3
蒲西小	16	1	5	1	13	1	12	1	8	1	13	1	67	6	2
三谷小	40	2	28	1	27	1	40	2	39	2	32	1	206	9	3
塩津小	83	3	66	2	61	2	86	3	73	2	86	3	455	15	6
大塚小	36	1	31	1	50	2	46	2	44	2	53	2	260	10	4
形原小	61	2	62	2	66	2	58	2	67	2	53	2	367	12	5
西浦小	38	2	27	1	35	1	28	1	38	2	40	2	206	9	2
形北小	71	2	71	2	83	3	62	2	82	3	67	2	436	14	5
中央小	42	2	57	2	42	2	53	2	43	2	50	2	287	12	3
三東小	38	2	42	2	52	2	50	2	39	2	54	2	275	12	5
竹島小	56	2	50	2	48	2	55	2	59	2	56	2	324	12	4
計	650	25	598	22	625	24	646	25	662	26	664	25	3,845	147	48

学校	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	特別支援学級
蒲郡中	177	5	158	5	140	5	475	15	3
三谷中	80	3	92	3	105	3	277	9	2
塩津中	83	3	110	4	85	3	278	10	3
大塚中	52	2	43	2	43	2	138	6	2
形原中	145	4	149	5	157	5	451	14	4
西浦中	43	2	46	2	45	2	134	6	2
中部中	111	3	112	4	120	4	343	11	4
計	691	22	710	25	695	24	2,096	71	20

※各学年の人数には、特別支援学級に通う児童生徒の数を含む

【蒲郡市における学校の標準規模について】

◎小学校 : 12~18 学級

区分	学級数	特性
過小規模	1~5学級	複式学級が存在する規模
小規模	6学級	クラス替えができない規模
準小規模	7~8学級	全学年ではクラス替えができない規模
	9~11学級	半分以上の学年でクラス替えができる規模
標準規模	12~18学級	全学年で2クラス以上の学級編成ができ、クラス替えができる規模
大規模	19~30学級	校舎面積、運動場面積等が充足されている場合は、標準規模と顕色のない教育活動を展開できる規模
過大規模	31学級~	児童一人当たりの校舎面積、運動場面積等が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる可能性がある規模

◎中学校 : 9~18 学級

区分	学級数	特性
過小規模	1~2学級	複式学級が存在する規模
小規模	3学級	クラス替えができない規模
準小規模	4~5学級	全学年ではクラス替えができる学年が少ない規模
準小規模	6~8学級	全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模
標準規模	9~11学級	全学年でクラス替えができ、同学年での複数教員配置や、免許外指導(講師含む)の解消が可能な規模
標準規模	12~18学級	専任の教科担任(正規教職員)を配置しやすい規模
大規模	19~30学級	校舎面積、運動場面積等が充足されている場合は、標準規模と顕色のない教育活動を展開できる規模
過大規模	31学級~	児童一人当たりの校舎面積、運動場面積等が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる可能性がある規模

(参考) 国における標準規模 : 小中学校ともに「12~18 学級」

(蒲郡市小中学校規模適正化方針より抜粋)

- ・現在、形原小学校は全学年2学級の計12学級、形原北小学校は3・5年生が3学級、それ以外は2学級の計14学級、形原中学校は1年生のみ4学級、2・3年生は5学級の計14学級となっており、それぞれ市が定める標準規模校に分類されます。

(3) 児童クラブの利用者の推移 (資料集 p.17)

対象小学校	実施場所	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R4対象学年
大塚小学校	おおつか児童館	20	29	38	37	35	28	26	28	27	1～2年生
	大塚小学校	-	-	-	-	11	15	16	22	22	3～6年生
三谷東小学校	三谷東小学校	28	34	40	39	38	40	41	51	41	全学年
三谷小学校	みや児童館	28	31	16	19	18	23	27	27	23	全学年
竹島小学校	竹島小学校	30	35	32	48	52	50	35	40	31	全学年
蒲郡南部小学校	がまごおり児童館	42	48	50	51	50	41	43	41	30	2～3年生
	蒲郡南部小学校	-	-	-	-	18	16	15	34	21	1・4～6年生
蒲郡東部小学校	蒲郡東部小学校	40	38	37	35	43	37	36	38	32	1～3年生
	東部公民館	-	-	-	-	-	17	14	17	15	4～6年生
蒲郡北部小学校	蒲郡北部小学校	35	33	39	37	44	36	33	37	35	1～2年生
	ちゅうぶ児童館 (北部小)	-	-	-	-	7	10	18	26	25	3～6年生
蒲郡西部小学校	ちゅうぶ児童館 (西部小)	10	11	11	13	14	15	-	-	-	
	蒲郡西部小学校	-	-	-	-	-	-	15	13	11	全学年
中央小学校	中央小学校	28	41	39	38	32	39	39	59	50	全学年
塩津小学校	しおつ児童館	62	63	49	43	50	33	28	34	29	2～6年生
	塩津保育園	-	-	26	29	20	23	15	20	16	1年生
形原北小学校	形原北小学校(かたはら児童館)	23	30	27	32	34	30	23	41	29	全学年
形原小学校	形原小学校	36	47	44	40	47	54	50	56	45	全学年
西浦小学校	にしうら児童館	15	13	15	26	26	32	24	22	15	全学年
合計		397	453	463	487	539	539	498	606	497	

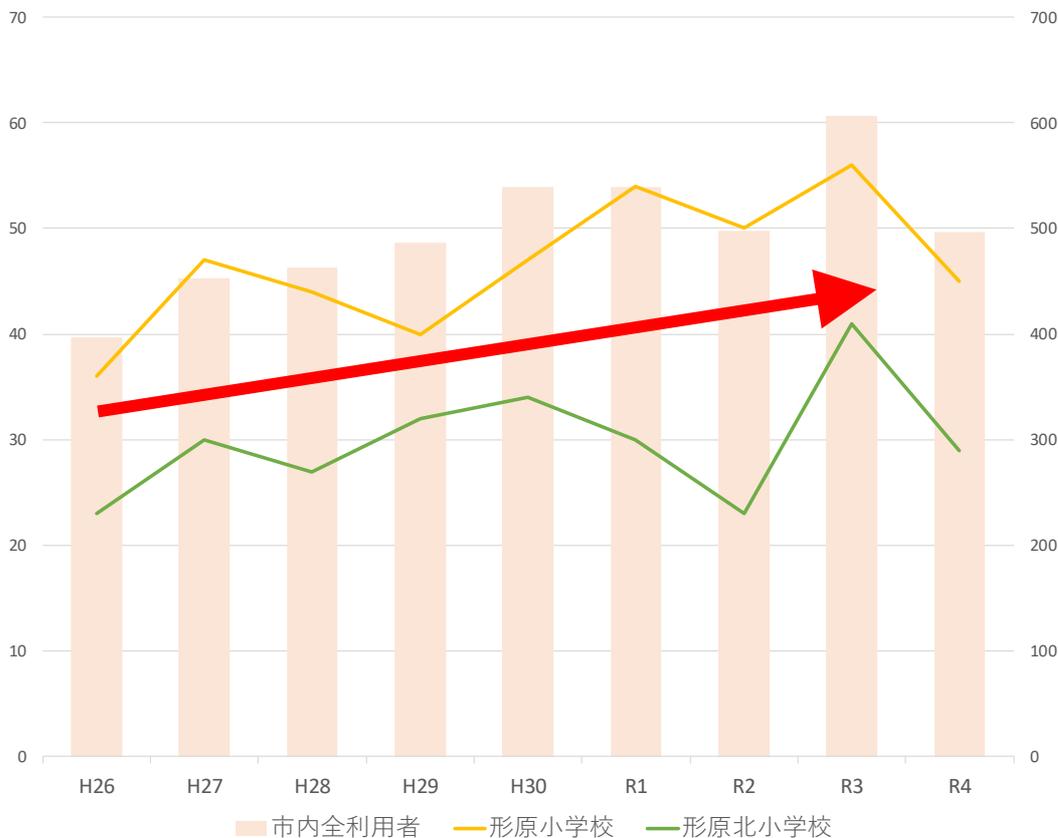
各年度3月1日時点 (R4のみ5月1日時点)

※ データのない箇所は、未開設の年度です。

※ 形原北小学校対象の児童クラブは、平成30年度までかたはら児童館内で実施していました。

※ 各児童クラブの人数には、学区を超えて利用している児童の数も含まれています。

児童クラブ利用者数推移



※ グラフ左側の数字は地区内の利用者数、右側の数字は市内全体の利用者数を示しています。

- 形原地区では各小学校で児童クラブを実施しており、利用者数は増加傾向です。

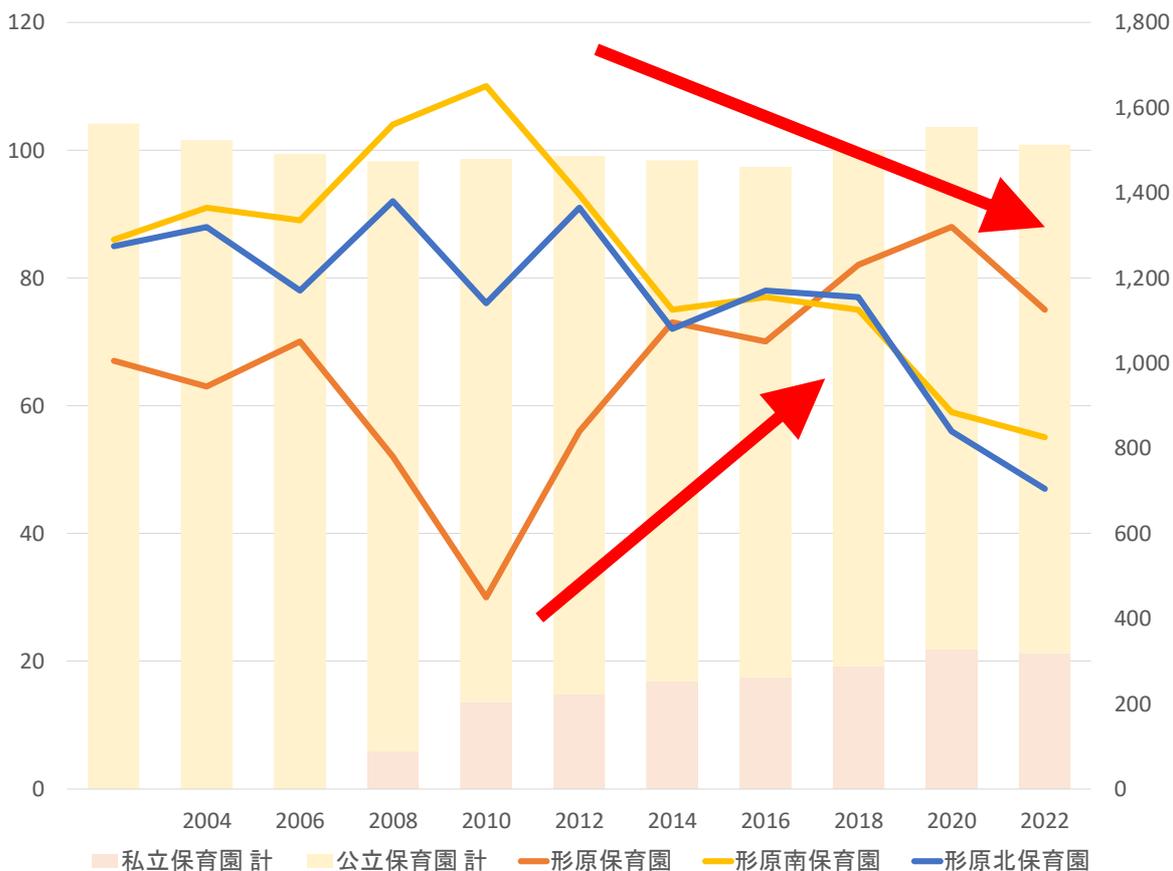
(4) 保育園の園児数の推移 (資料集 p.25)

保育園名	R4年度 定員	H14年度	H16年度 2004	H18年度 2006	H20年度 2008	H22年度 2010	H24年度 2012	H26年度 2014	H28年度 2016	H30年度 2018	R2年度 2020	R4年度 2022
東部保育園	90	77	76	65	67	65	56	56	62	53	52	71
北部保育園	140	85	53	71	113	137	117	110	108	108	102	101
西部保育園	70	39	48	45	31	30	47	31	35	37	41	39
塩津保育園	80	54	64	58	58	52	38	34	24	21	37	54
大塚保育園	80	75	79	76	69	58	55	65	58	55	61	64
府相保育園	130	108	102	120	125	132	98	108	84	105	114	113
三谷東保育園	150	129	123	124	121	124	140	126	106	108	122	128
大塚西保育園	60	57	66	57	39	35	30	31	32	21	21	22
三谷西保育園	100	96	95	99	91	99	75	58	57	66	84	80
形原保育園	110	67	63	70	52	30	56	73	70	82	88	75
中部保育園	170	116	122	130	130	137	147	118	129	146	155	142
南部保育園	160	80	70	63	51	75	93	125	148	148	150	135
形原南保育園	100	86	91	89	104	110	93	75	77	75	59	55
西浦保育園	120	120	100	89	72	86	83	88	89	86	74	68
形原北保育園	90	85	88	78	92	76	91	72	78	77	56	47
塩津北保育園 ※		63	62	49	40	29	46	53	42	24	11	
鹿島こども園 ※	185	119	120	113	131	112	121	129	130	150	187	181
みどり保育園 ※	140	107	101	95	88	92	101	124	132	138	140	138
公立保育園計	1,650	1,563	1,523	1,491	1,386	1,275	1,265	1,223	1,199	1,212	1,227	1,194
私立保育園計	325				88	204	222	253	262	288	327	319
市内保育園合計	1,975	1,563	1,523	1,491	1,474	1,479	1,487	1,476	1,461	1,500	1,554	1,513

※ 鹿島こども園は平成22年度、みどり保育園は平成20年度より民営化
 ※ 塩津北保育園は令和3年3月閉園

(各年4月1日時点)

園児数推移



※ グラフ左側の数字は各園の園児数、右側の数字は市内保育園の園児数合計を示しています。

- 形原南保育園、形原北保育園ともに利用者数が減少している傾向があります。
- 形原保育園の園児数は、平成24年(2012年)ごろから増加傾向です。

(5) 年齢別園児数 (資料集 p.26)

令和4年4月1日現在

保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	受入可能年齢	延長保育
東部保育園			6	20	30	15	71	2歳児から	○ ※
北部保育園	3	17	16	20	20	25	101	生後6か月から	○
西部保育園	0	6	5	11	14	3	39	生後6か月から	○
塩津保育園	0	3	12	17	10	12	54	生後6か月から	○
大塚保育園			12	22	15	15	64	2歳児から	○ ※
府相保育園	2	15	10	30	23	33	113	生後6か月から	○
三谷東保育園	4	15	16	30	28	35	128	生後6か月から	○
大塚西保育園				7	6	9	22	3歳児から	
三谷西保育園	2	11	14	18	20	15	80	生後6か月から	○
形原保育園	2	16	16	19	11	11	75	生後6か月から	○ ※
中部保育園	6	17	23	31	33	32	142	生後6か月から	○
南部保育園	2	18	18	34	30	33	135	生後6か月から	○
形原南保育園	1	7	10	12	9	16	55	生後6か月から	○
西浦保育園	1	9	9	16	17	16	68	生後6か月から	○ ※
形原北保育園				11	16	20	47	3歳児から	○ ※
鹿島こども園	1	25	27	47	48	33	181	生後6か月から	○
みどり保育園	4	20	24	30	30	30	138	生後6か月から	○
公立保育園 合計	23	134	167	298	282	290	1,194		
私立保育園 合計	5	45	51	77	78	63	319		
市内保育園 合計	28	179	218	375	360	353	1,513		

※ 平日夕方の延長保育は、原則午後7時までですが、東部保育園・大塚保育園・形原保育園・西浦保育園・形原北保育園については、午後6時までです。

※ 塩津保育園は令和3年度より低年齢児(2歳未満児)の受け入れを開始しました。

- 受け入れ可能年齢は形原保育園、形原南保育園が0歳児から、形原北保育園3歳児からと、地区内の保育園でもバラツキがあります。
- 延長保育についても、形原保育園、形原北保育園は午後6時まで、形原南保育園は午後7時までとなっています。

(6) 公民館の利用状況 (資料集 p.30)

【1】 公民館別 貸部屋利用率状況

※上段は R3、下段はコロナ渦前の H30 の数値

施設名称	利用者数(人)	貸部屋利用率(%)	貸部屋 一覧
蒲郡公民館	8,865	21.2%	【7部屋】和室(1・2)、研修室、調理室、多目的ホール(1・2・3)、(館外等)
	17,540	36.7%	
小江公民館	6,612	15.5%	【6部屋】ホール、小会議室、講座室、和室、ホール、料理室、(館外等)
	15,079	26.1%	
府相公民館 ※	10,959	14.8%	【8+2部屋】交流プラザ、ホール(1・2)、和室(1・2)、会議室(1・2・3)、調理室(共用)、図工室(共用) 館外・屋外スペース等
	22,685	29.3%	
東部公民館	14,645	10.2%	【6部屋】小会議室、南研修室、和室(A・B)、研修室、大会議室、料理室、(館外等)
	32,561	18.6%	
北部公民館	8,789	13.1%	【5部屋】会議室、ホール、調理室、和室(1・2)、(館外等)
	29,117	17.8%	
西部公民館	4,368	19.9%	【6部屋】研修室(第1・第2)、和室、ホール、図書室、調理室、(館外等)
	10,147	28.8%	
三谷公民館	7,358	8.8%	【9部屋】集会室(第1～第6)、大集会室、和室、調理室、(館外等)
	34,641	21.6%	
塩津公民館	7,326	16.1%	【6部屋】講義室、図書室、調理室、会議室、日本間、交流室、(館外等)
	18,727	17.3%	
大塚公民館	13,878	23.1%	【6部屋】集会室、会議室、小会議室、控室、和室、料理室、(館外等)
	28,257	22.5%	
形原公民館	7,077	13.1%	【7部屋】会議室(1～3)、大ホール、中ホール、和室(東・西)、(館外等)
	26,621	36.1%	
西浦公民館	17,863	19.9%	【9部屋】本館研修室(1・2)、本館講堂、本館会議室(1・2)、調理室、 南館会議室(1階・2階)、南館図書室、(館外等)
	32,770	19.3%	
全館平均	9,795	16.0%	
	24,377	24.9%	

【2】 形原公民館 部屋別 利用率状況

施設名称	利用者数(人)	貸部屋別利用率(%)	時間区分別 利用回数				計
			午前	午後	夜間	終日	
会議室1	743	11.3%	19	50	1	2	90
	2,359	24.5%	51	93	31	6	229
会議室2	1,037	19.2%	46	68	7	6	153
	3,093	41.0%	66	167	77	13	384
会議室3	657	18.5%	30	63	10	10	147
	1,993	29.7%	27	100	68	16	278
大ホール	3,127	23.8%	61	70	14	10	189
	7,534	53.4%	81	165	66	51	500
中ホール	1,413	17.2%	38	41	26	6	137
	4,487	40.0%	111	124	80	8	374
和室	146	9.4%	19	14	8	2	75
	1,132	27.6%	53	42	14	38	258
エントランスホール	198	3.3%	0	0	0	4	26
	2,652	7.6%				12	71
その他 【全館・館外等】※	844	1.8%	0	2	0	4	14
	4,049	3.7%	1	3	1	10	35
合計	8,165	13.1%	213	308	66	44	831
	26,167	28.4%	337	652	323	116	2,129

【3】 形原公民館 世代別 利用状況

	クラブ数	延利用者数	世代占有率(利用者)	実施回数	世代占有率(回数)
定期クラブ活動(大人対象+子ども対象)	35種類	3,167	100.0%	397	100.0%
	32種類	11,084	100.0%	1,099	100.0%
大人対象のクラブ活動	34種類	3,108	79.2%	391	98.5%
	32種類	11,084	100.0%	1,099	100.0%
子ども対象のクラブ活動	1種類	59	20.8%	6	1.5%
その他一般活動		2,466		166	
		8,387		421	
合計		5,633		563	
		19,471		1,520	

※定期教室・クラブ … 形原水墨画教室、形原長寿カラオケ愛好会、詩吟クラブ天公会、和紙ちぎり絵サークル、形原詩吟民謡クラブ、布花教室、ひまわりの会、大正琴スマイルの会、詩吟第一部、形原公民館俳句教室、詩吟第三部、詩吟第二部、八ねん土、3B体操シニア教室、健康体操レクの会、茶・華道平野教室、形原囲碁愛好会、健やか会、秋桜、生け花教室、大正琴いちりん会、ストレッチ&リラクゼーション、ききょうの会、詩吟第五部、わかば健康クラブ、フルール、SWF蒲郡翼形原教室、万葉の山道愛好会、キッズダンス、バランスボール、いちりん会、スマイルの会、バランスボール(個別)

※一般利用 … 文化祭、各種会議、敬老会、子ども会など

- ・ 形原公民館の利用率は全館平均とほぼ同程度であることが分かります。
- ・ 部屋別利用状況についてみると、会議室、ホール、和室等バランスよく利用されていることが分かります。
- ・ 公民館等を定期利用しているクラブの一覧を見ると水墨画や詩吟など、大人を対象としたクラブが多く活動していることが分かります。

(7) かたはら児童館の利用状況 (資料集 p.28)

	開館日	乳幼児		小学生		中高生		その他		小計		団 体 利 用 客	児 童 ク ラ ブ	合 計	
		利用数	平均	利用数	平均	利用数	平均	利用数	平均	利用数	平均			利用数	平均
がまごおり児童館	296	3,867	13.1	908	3.1	129	0.4	3,210	10.8	8,114	27.4	76	5,136	13,326	45.0
(参考)H30	294	9,782	33.3	2,871	9.8	435	1.5	8,004	27.2	21,092	71.8	239	8,141	29,472	100.2
かたはら児童館	297	3,531	11.9	901	3.0	69	0.2	3,170	10.7	7,671	25.8	68	0	7,739	26.1
(参考)H30	293	7,028	24.0	2,366	8.1	106	0.4	6,347	21.7	15,847	54.2	129	4,537	20,513	70.0
みや児童館	296	3,916	13.2	416	1.4	29	0.1	3,253	11.0	7,614	25.7	107	3,923	11,644	39.3
(参考)H30	292	8,041	27.5	4,135	14.2	396	1.4	6,244	21.4	18,816	64.5	18	3,462	22,296	76.4
おおつか児童館	297	2,806	9.4	423	1.4	33	0.1	2,265	7.6	5,527	18.5	38	4,994	10,559	35.6
(参考)H30	293	4,028	13.7	2,118	7.2	115	0.4	3,330	11.4	9,591	32.7	437	7,057	17,085	58.3
にしうら児童館	296	2,392	8.1	739	2.5	16	0.1	1,840	6.2	4,987	16.9	0	2,862	7,849	26.5
(参考)H30	292	6,630	22.7	5,015	17.2	176	0.6	5,229	17.9	17,050	58.4	95	4,649	21,794	74.6
しおつ児童館	297	5,222	17.6	469	1.6	183	0.6	4,238	14.3	10,112	34.1	99	4,495	14,706	49.5
(参考)H30	293	7,683	26.2	3,578	12.2	891	3.0	6,054	20.7	18,206	62.1	405	6,919	25,530	87.1
ちゅうぶ児童館	296	4,232	14.3	747	2.5	143	0.5	3,946	13.3	9,068	30.6	0	4,292	13,360	45.1
(参考)H30	292	9,534	32.7	5,598	19.2	825	2.8	8,208	28.1	24,165	82.8	72	3,040	27,277	93.4
全館合計	296	25,966	87.6	4,603	15.5	602	2.0	21,922	73.9	53,093	179.0	388	25,702	79,183	267.1
(参考)H30	293	52,726	180.1	25,681	87.7	2,944	10.1	43,416	148.3	124,767	426.2	1,395	37,805	163,967	559.6

※ 令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、警戒レベルに応じて開館時間の短縮や入場者数の制限などを実施しています。

※ かたはら児童館内で実施していた児童クラブは、令和元年度より形原北小学校内に移転しました。

• 全ての児童館で、乳幼児の利用が多く、中高生の利用が少ないことが分かります。

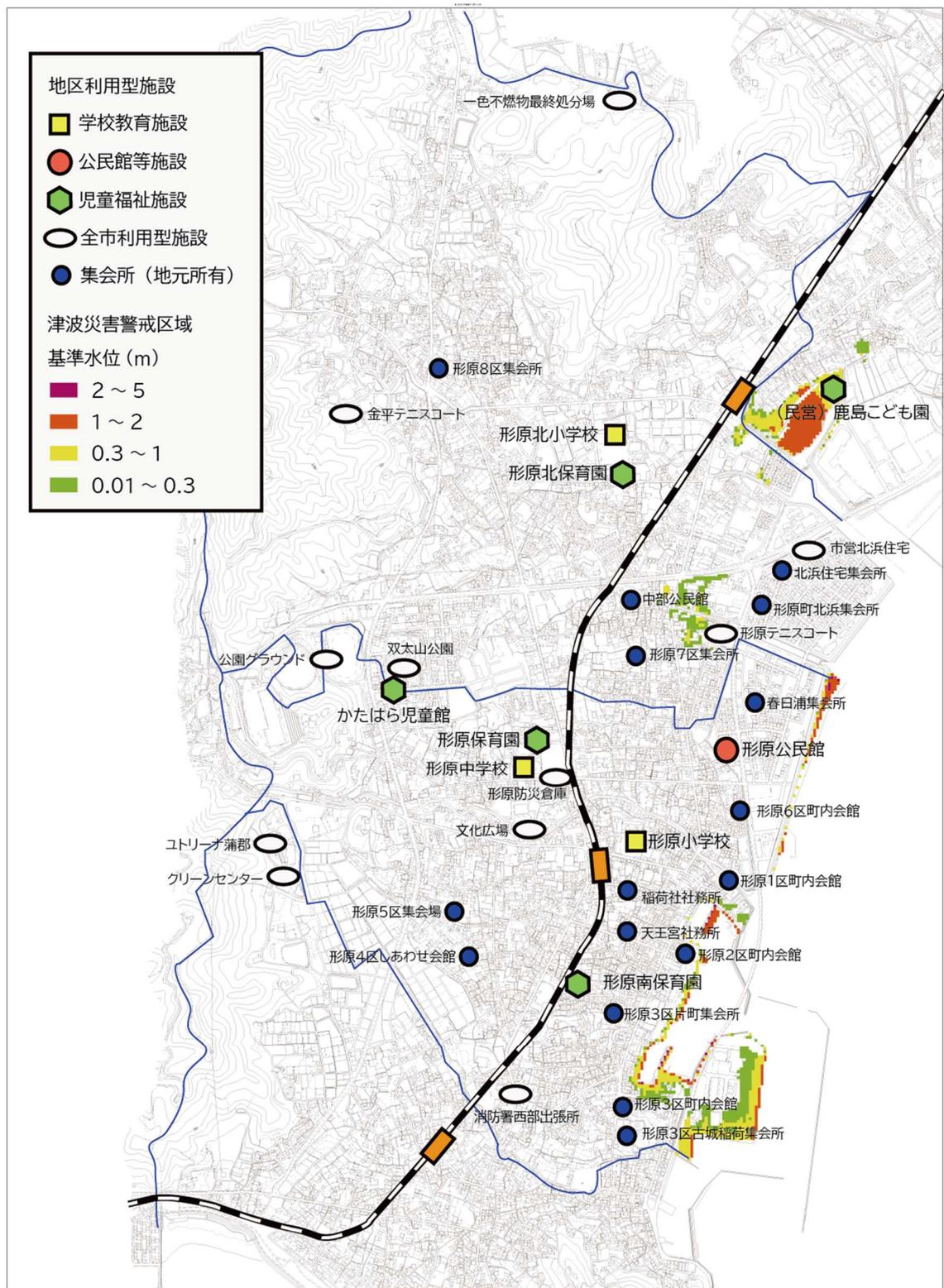
(8) あじさいくるりんバス (資料集 p.41)

あじさいくるりんバスは、平成27年4月より運行が開始され、運行にあたって、地元の協議組織である「地区公共交通協議会」を立ち上げ、地区の皆さまと運行計画案を検討しました。

協議会で検討した結果、令和4年4月より火、木、金、土曜日の週4日運行となりました。

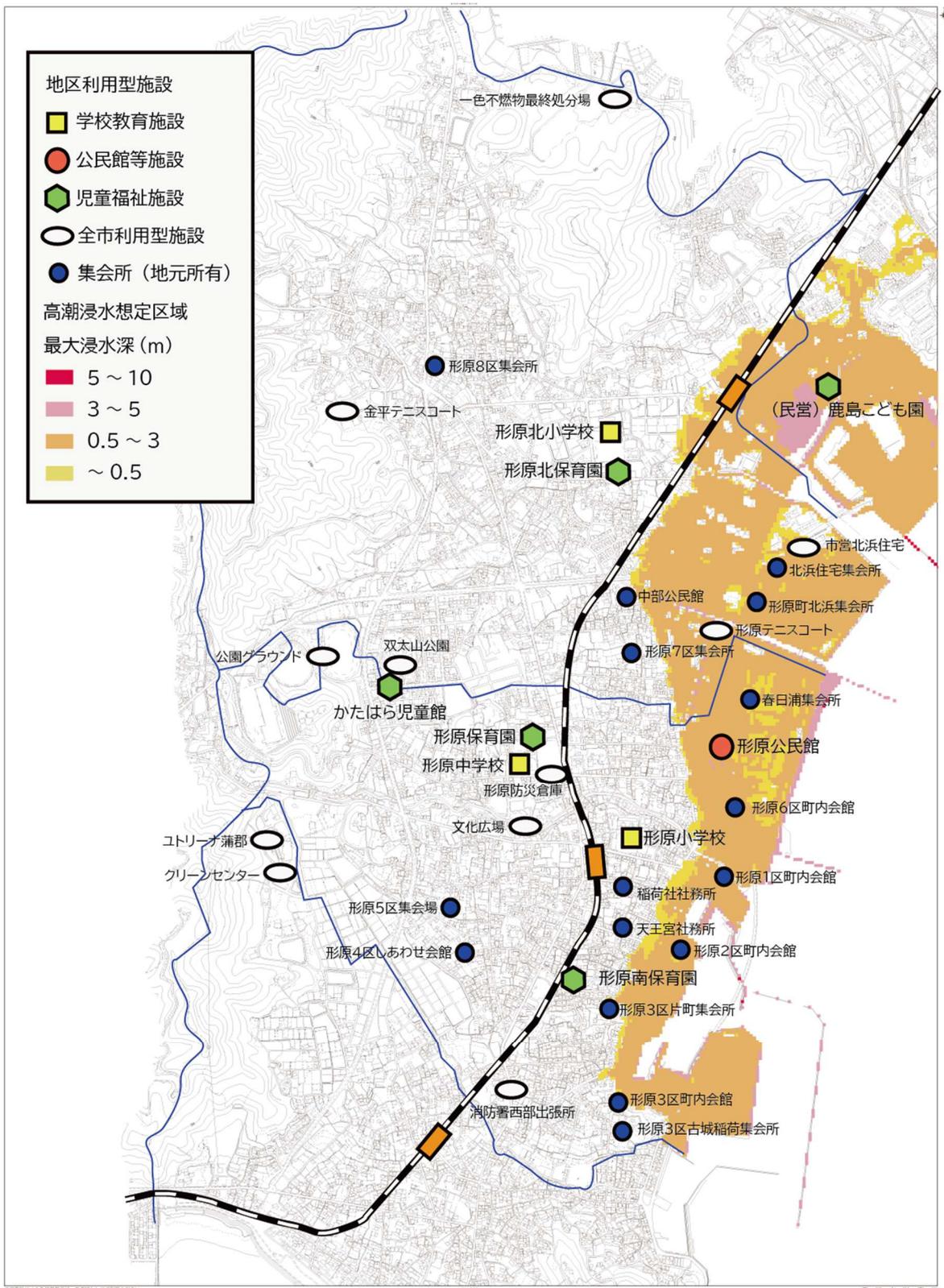


(9) 津波災害警戒区域 (資料集 p.2)



• 春日浦や形原漁港の沿岸部では津波が想定されていますが、避難所・避難場所となる学校、保育園については警戒区域等に指定されていません。

(10) 高潮浸水想定区域 (資料集 p.3)



- 海に近いエリアで広く高潮が想定されています。公共施設では、形原公民館が高潮浸水想定区域内です。

課題解決に向けた視点の整理

- 第1回ワークショップでいただいたご意見が、どのような視点で発言いただいているのか、事務局で整理しました。
- まちづくりや公共施設に関していただいたご意見は、以下の8つの視点案に分類することができます。

視 点	ご意見要約
① 多様な人々との交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設が集合することで、多世代交流ができるとよい。 ● 地域の人が交流できる場所がほしい。 ● コロナの影響もあり、人とのつながりが希薄になってきていることが心配だ。
② 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 低年齢児保育を充実してほしい。 ● 施設の集合で送迎の利便性が向上する。 ● 乳幼児が安心して遊べる場所が少ない。
③ 子ども達の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども会や部活動がなくなっているので、小中学生の居場所が欲しい。 ● 中高生が気軽に使いやすい公共施設がほしい。
④ 地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 今住んでいる若者が、将来も住み続けたいと思うような魅力あるまちづくりをしてほしい。 ● 若い世代が移住したくなるようなまちづくりを進めてほしい。 ● 公民館利用者が増加すると、新たな機能が併設されるなど相乗効果が生まれるのではないかと。 ● 地域の人々の活躍の場を作りたい。
⑤ 高齢者の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の身近に居場所がほしい。 ● 公民館は高齢者にとって遠く、利用しにくい。 ● お年寄りがとても元気である。
⑥ 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校は老朽化している。 ● 保育園は災害が起きた際心配な面がある。
⑦ 利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能面で使いづらい施設がある。 ● どの施設も駐車場が少なく、利用しづらい。
⑧ 効率的な施設配置	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区の人口バランスを考慮した施設配置にしてほしい。 ● 子ども数が減っており、保育園を統合してもよい。
⑨ . . .	● . . .

※皆様のご意見をどのように本資料に整理したかについてはp.35～37「第1回ワークショップでいただいたご意見の整理」をご覧ください。

第1回ワークショップでいただいたご意見の整理

- 第1回ワークショップでは、様々な観点からワークショップの進め方や形原地区の課題等についてご意見をいただきました。
- いただいたご意見がどのような視点に基づいているのかを事務局において整理し、下表のとおり分類しました。
- 「回答を用意しています」としている項目については、p.15～21の「ご質問等への回答」で、事実関係や市の考えなどの回答を用意しています。
- 「進め方についてのご意見」「現状認識」としている項目は、今後のワークショップ運営や検討にあたり考慮すべき事項として整理します。
- まちづくりや公共施設に関するご意見については、次の①～⑧に分類し、この分類に基づき、p.34「課題解決に向けた視点の整理」を作成しました。

【第1回ワークショップでのご意見の分類】

- ①多様な人々との交流 ②子育てしやすい環境づくり ③子ども達の居場所づくり ④地域の活性化
⑤高齢者の活躍 ⑥安全・安心 ⑦利便性の向上 ⑧効率的な施設配置

(1) 公共施設マネジメントの取組み、進め方についてのご意見

区分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分類
公共施設マネジメントの考え方	地区利用型施設だけでなく、他の施設と絡めて検討していきたい。	進め方についてのご意見 回答を用意しています
ワークショップの進め方	市民から直接問題点や課題を出してもらい進めていく点はよい。	進め方についてのご意見
	小中学校の再編等は、教育委員会など専門家が決めればよい。	進め方についてのご意見 回答を用意しています
	事前に前回のまとめを送ってほしい。	進め方についてのご意見 回答を用意しています
	参加者へ宿題を課してはどうか。	進め方についてのご意見 回答を用意しています
	ワークショップでどこまで決めるのか。	進め方についてのご意見 回答を用意しています
	会場が賑やかすぎたため、次回以降は集中できる環境で検討したい。	進め方についてのご意見
	施設整備の際には、他の施設も参考にすべきである。	進め方についてのご意見

(2) 地区のまちづくりや公共施設について

区分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分類
地区のまちづくりの方向性	形原は自然豊かで住みやすい。	現状認識
	今住んでいる若者が、将来も住み続けたいと思うような魅力あるまちづくりをしてほしい。	④地域の活性化
	若い世代が移住したくなるようなまちづくりを進めてほしい。	④地域の活性化
	蒲郡は子育て支援に力を入れている点がよい。	②子育てしやすい環境づくり 現状認識
	アクセス面が良好な割に地価が安い点は、蒲郡の強みだと思う。	現状認識
	企業を誘致して、雇用創出につなげたい。	④地域の活性化
	形原の魅力を発信し、インバウンドの観光需要を取り込みたい。	④地域の活性化
形原のお年寄りはとても元気である。	⑤高齢者の活躍 現状認識	

区分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分類
地区のまちづくりの方向性	協力的な人が多い地域柄であるため、学校を含めた情報共有を密にすることで活動を広げ、地域の人々の活躍の場を作りたい。	①多様な人々との交流 ④地域の活性化
	コロナの影響もあり、人とのつながりが希薄になってきていることが心配だ。	①多様な人々との交流
	子ども会が消滅してしまった地区もあるが、工夫して継続している地区もある。なんとか継続していきたい。	③子ども達の居場所づくり
	道路が狭く、今後の利活用が難しい地域もある。	④地域の活性化 ⑥安全・安心
公共施設の現状や今後について気になること (公共施設全般)	形原中学校の近くにある踏切は、危険だと感じる。	⑥安全・安心
	地域の人々が交流できる場所がほしい。	①多様な人々との交流
	地域の良さを生かした遊びができる施設がほしい。	③子ども達の居場所づくり
	高齢者の身近に居場所がほしい。	⑤高齢者の活躍
	中高生が気軽に使いやすい公共施設がほしい。	③子ども達の居場所づくり
	子ども会や部活動がなくなっているので、小中学生の居場所がほしい。	③子ども達の居場所づくり
	スポーツ利用ができる広い施設がほしい。	④地域の活性化
公共施設の現状や今後について気になること (小中学校)	地区の人口バランスを考慮した施設配置にしてほしい。	⑦利便性の向上 ⑧効率的な施設配置
	現在の施設は、利用制限や予約の取りにくさがあり、使いにくいと感じる。	⑦利便性の向上
公共施設の現状や今後について気になること (小中学校)	小中学校と保育園が隣接すると、子ども同士の交流や親の送迎、災害時の避難などでメリットがある。	①多様な人々との交流 ②子育てしやすい環境づくり ⑥安全・安心
	小学校の老朽化が心配だ。	⑥安全・安心
公共施設の現状や今後について気になること (保育園)	形原保育園、形原北保育園は施設が古く、狭い。	②子育てしやすい環境づくり ⑥安全・安心
	0歳児保育のニーズは高いが、定員いっぱいでは預けられない。新たな受け入れ先の確保や定員を増やす必要がある。	②子育てしやすい環境づくり
	どの保育園も駐車場が狭くて足りない。	⑦利便性の向上
	保育園へのアクセスが悪い。	⑦利便性の向上
公共施設の現状や今後について気になること (児童館)	子どもが減っていくことを考えると、保育園を集約してもよいと思う。	⑧効率的な施設配置
	中高生にとって、児童館は小さな子どもが多く利用しづらい。	③子ども達の居場所づくり
	児童館と公民館が集約すると、子どもと高齢者の交流が生まれてよい。	①多様な人々との交流
公共施設の現状や今後について気になること (公民館)	児童館の雨漏りは、特殊なデザインが原因ではないか。	現状認識
	公民館は機能面で若者のニーズを満たしておらず、利用しづらい。	③子ども達の居場所づくり
	公民館は高齢者にとって遠く、利用しにくい。	⑤高齢者の活躍 ⑦利便性の向上
公共施設の現状や今後について気になること (災害時の対応について)	公民館の利用者が増加すると、新たな機能が併設されるなど相乗効果が生まれるのではないか。	④地域の活性化
	形原南保育園は災害時には心配な面がある。	⑥安全・安心
	地区の防災無線は、雑音が多く聞こえづらい。	⑥安全・安心

区分	第1回ワークショップでいただいたご意見	分類
公共施設の現状や今後について気になること (アクセス・駐車場について)	どの施設も駐車場が少なく、利用しづらい。	⑦利便性の向上
	イベント時などはバス送迎などの工夫もできないか。	⑦利便性の向上
	くるりんバスをもっと活用できるとよい。	⑦利便性の向上
公共施設の現状や今後について気になること (その他)	地区集会所を世代や利用目的にとらわれず、幅広く活用したい。	①多様な人々との交流
	西部市民センター跡地は土地としての課題もあるが、駅前で便利な場所であるので、地元と十分に協議をしながら活用の検討を進めてほしい。	回答を用意しています
	ユトリーナ蒲郡の今後の方針が知りたい。	回答を用意しています
	乳幼児が安心して遊べる場所が少ない。トイレが綺麗な公園ができると良い。	②子育てしやすい環境づくり ③子ども達の居場所づくり
	今ある図書館分室は使いづらい。跡地利用や複合化で利用しやすい図書館機能を設けたい。	⑦利便性の向上
	金平テニスコートは、夜間駐車場が暗いため、照明があると良い。	現状認識
	一色不燃物最終処分場の跡地を、公園などみんなが使える場所にしてほしい。	回答を用意しています
	形原テニスコートが地図に無いのはなぜか。	回答を用意しています
空き家や空き地を市が買い取り、有効活用できないか。	回答を用意しています	

本日の検討内容

- ① 第1回ワークショップで出された意見を反映し、皆様が大切だと思っている8つの視点をまとめました。皆様のご意見は反映されていますか。追加すべき視点はありますか。

(WSを通じて得られた課題の視点)

- | | |
|--------------|---------------|
| ①多様な人々との交流 | ②子育てしやすい環境づくり |
| ③子ども達の居場所づくり | ④地域の活性化 |
| ⑤高齢者の活躍 | ⑥安全・安心 |
| ⑦利便性の向上 | ⑧効率的な施設配置 |

- ② 各々の視点について、課題を解決するためにどのようなことに具体的に取り組んでいくとよいでしょうか。

次回ワークショップのご案内

「第3回形原地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を以下のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

1 日時

令和4年11月6日（日）

午後1時30分～午後4時30分（受付開始時刻 午後1時15分）

2 お願い

- ご欠席の場合は、10月28日（金）までに事務局へご連絡ください。
- 次回ワークショップの資料を郵送で事前に配布いたしますので、届きましたら資料に不足がないかご確認ください。

【ワークショップ事務局】

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課

担 当：上田・尾崎・上酔尾

電 話：0533-66-1214

ファクス：0533-66-1183

E-mail：k-mane@city.gamagori.lg.jp